

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212T301	精神看護方法論 II (Psychiatric and Mental Health Nursing Practice II)	専門教育科目 精神看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	3	前	水・1, 2	岩本祐一 内線：5074 E-mail：yiwamoto@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

精神疾患に関する基礎的知識を学び、精神の健康問題に直面している対象とその家族を理解するとともに、彼らに必要な援助方法を習得する。個別的な看護を展開するための基礎的能力を養う。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 精神の発達に関連する精神疾患とその看護について説明することができる。	○						
2. 主な精神症状、精神科疾患とその看護について説明することができる。					○		
3. 精神看護における治療的 patient-看護師関係について理解し、効果的な看護技術を習得することができる。		○					
4. オレム・アンダーウツのセルフケアモデルに基づく看護過程を考えることができる。			○				

【授業の内容】

1-2	精神看護におけるコミュニケーション技術、場面の再構成
3-4	統合失調症急性期・回復期にある対象の看護
5-6	抑うつ障害、強迫性障害、依存症（物質依存、摂食障害）を持つ対象の看護
7-8	CBT, (認知行動療法)、SST、心理教育
9-10	発達障害を持つ対象の看護
11-12	セルフケア理論を用いた看護展開 ①
13-14	セルフケア理論を用いた看護展開 ②
15-16	展開事例の発表治療的 patient-看護師関係-その1
17-18	展開事例の発表治療的 patient-看護師関係-その2
19-20	さまざまな精神疾患を持つ対象の看護
21-22	精神科デイケアの役割と機能の理解、実際の活動の理解

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	地域における精神科施設の見学	<ul style="list-style-type: none"> ・事例や動画を活用し、精神看護学について深く考えられるようにする。 ・ロールプレイ演習を取り入れ、精神看護の実際について学ぶ機会を設ける。
B：意見の表現・交換	○	グループでの検討、発問	
C：応用志向	○	ロールプレイ演習	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書、参考文献等を用い次回の学習内容について予習する。(10h)
事後学修	配布資料と、適宜教科書を用い学習した内容の復習。課題レポートの作成(5h)。

【教科書】

岩崎弥生他編：精神看護学①精神看護学概論 精神保健（新体系 看護学全書），メヂカルフレンド社 第6版,2021
 岩崎弥生他編：精神看護学②精神障害をもつ人の看護（新体系 看護学全書），メヂカルフレンド社 第6版,2021
 河村奈美子他編：看護の治療的コミュニケーションと心のケア：実践力を高めるワークブック，大学教育出版,2021

【参考書】

参考文献等は適宜提示する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
授業参加状況、提出物（レポート等）等	40%		○	○	○
期末試験	60%	○	○	○	○

【注意事項】 講師の都合により講義日程を変更することがある。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	看護師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○	
教員以外の指導に関わる実務経験者	看護師	
実務経験をいかした教育内容	精神看護学領域において、エビデンスに基づいた質の高い看護実践を行うために、看護実践の理論と基盤となる構成概念を講義する。	
授業形態		